



石原 武志 議員

質問 小中学校の統廃合について 考え方の変更はあるか

町長

平成21年の答申を踏まえた方針は変更していない

質問 近隣市町村でも統廃合が実施されている。塔村新教育長のもと、方針変更はあるのか。

町長 学校の再編、統廃合は8年前と同じで基本方針は変更していない。

質問 新しく就任された教育長の考え方はどうか。一歩踏み込んだ答弁が欲しい。

教育長 町長の返答同様変更はない。教育長の交代で変化を期待されても、見解は以前同様である。

質問 保護者の意向、希望などの調査はどのようなか。

町長 答申から8年経過、少子化も進行している中、地域や保護者との議論や検討は行っていく考えであるが、現状では地域の子は地域で育てる、学ばせるとの思いは本当に強く持っている。

質問 耐震化対策につ

いても計画の見直し等はないか。

教育長 安心安全のため早急な対策が必要で、校舎改築等については適時適切に対応する。保護者等の意見を聞き検討する。

道路修繕について

質問 耐震化対応の問題は緊急を要する事項だ。早急な手を望む。

通学路でいわゆる「狭路」の現状・問題点を問う。

建設課長 通学路の現状把握は町通学路安全推進協議会や自治会・学校などから連絡を頂き、問題を共有している。積極的な公共事業投資により通学路となる集落内幹線道路や基幹道路・学校周辺の重要路線は、既に一部区間を除き路線改良をほぼ完了している。

町道の約6割が幅4m以下の狭路街道で改良率は4割程度であ

る。通学路の安心安全の確保は絶対的な使命であると感じている。現在15路線において二次改良の道路改良工事を実施している。今後歩道の新設もあわせ改良整備を進めていく。

質問 例えば4m以上の道路幅があっても状況によっては狭路道路と感じる場合もある。状況や自治会等の要望により対応をしてほしいと思うが、自治会要望はどのように管理されているか。

建設課長 自治会や地域住民からの要望に対し現地精査し、修繕等必要な箇所から予算の範囲内で随時対応している。事故防止を含め緊急対応も実施している。

9月議会では自治会要望等精査の上、補正予算を計上する予定だ。

質問 工事方法について問う。側溝・床版工事等、災害時の対策を

含め工事方法や内容は当事者や関係者に説明は十分になされているか。

建設課長 修繕対応については地元と再度調整し工事等行っている。工事方法は3つ。一つ目は舗装面のポットホール補修、陰切等簡易なもの、二つ目は突然発生の危険性を伴う小規模

な修繕対応を要するもの。三つめは小中規模で工期が予測される修繕工事。現地精査の上入札等で対応する。

※客観的な状況は個別自治会ではわかりにくい場合が多い。単一的な返答でなく全体状況など含め詳しい説明が必要と思う。即応できない場合は説得力のある説明に努めてほしい。



通学路災害復旧道路工事の様子